

フィリピン、インドネシア、トルコから 日本の文化・教育事情を視察に来日

フィリピン文化センター館長／芸術監督 スニーコ氏
シャリーフ・ヒダヤトゥッラー国立イスラーム大学ジャカルタ校学長 コマルツェイン氏
イスタンブール文化芸術基金 総合ディレクター タネル氏

国際交流基金（ジャパンファウンデーション）は、毎年各国から文化の専門家を招へいしています。11月には、日本国内の最新美術事情を視察し、各国とのネットワークを築くため以下の3名が来日し、国内の文化機関や教育機関などを視察します。



ラウル・スニーコ / Raul M. SUNICO

フィリピン文化センター館長／芸術監督

(President and Artistic Director of the Cultural Center of the Philippines)

※フィリピン文化センターは、1969年創設の大統領府直属の国立複合文化施設。4つの劇場、ギャラリー、映画上映施設、図書館等を擁する。レジデンスカンパニーと交響楽団、民族舞踊団、バレエ団、劇団を擁し、フィリピンにおける文化活動の中核機関。

■招へい期間 | 2010年11月1日(月)～11月14日(日) 14日間

■主な訪問・視察先 | 文化庁、芸術文化施設、音楽大学等の訪問及び
日本の伝統芸能 芸術文化の視察等を予定。

■略歴 | フィリピン大学で音楽学、数学の学士、統計学の修士号を取得。ニューヨークのジュリアード音楽院で音楽学修士を取得後、1993年ニューヨーク大学にてピアノパフォーマンスの博士号、極東大学（マニラ）にて人文科学博士号を取得。マニラにあるサントトマス大学音楽院の学部長も勤めるほか、2010年より現職。これまでに世界10数カ国でコンサートを開催し、40枚以上のCD／カセットをリリースするなど、ピアニストとしても精力的に活動している。受賞歴多数。フィリピン国内公立小学校3-6年生向けに、教材の執筆なども行っている。

「文化人招へいプログラム」とは・・・

国際交流基金では、海外において各分野を代表する優れた文化人を日本に招へいし、日本の文化と社会を体験していただくとともに、関係者との意見交換を行ない、日本理解と人的ネットワークづくりを促進しています。これまでの文化人招へい一覧は、ウェブサイトをご覧ください。

<http://www.jpff.go.jp/j/culture/human/invitation/index.html>

お問い合わせ | 国際交流基金 文化事業部 生活文化チーム 電話：03-5369-6060 FAX：03-5369-6036

【フィリピン スニーコ氏】 担当：鈴木 E-mail：Saya_Suzuki@jpf.go.jp

【インドネシア コマルツェイン氏】 担当：夫津木 E-mail：Misako_Futsuki@jpf.go.jp

【トルコ タネル氏】 担当：志和 E-mail：Hisae_Shiwa@jpf.go.jp



コマルッディン・ヒダヤット(インドネシア) / KOMARUDDIN Hidayat

シャリーフ・ヒダヤトゥッラ - 国立イスラーム大学ジャカルタ校 学長

Rector of the Syarif Hidayatullah State Islamic University, Jakarta

(原語: Universitas Islam Negeri Syarif Hidayatullah Jakarta)

※シャリーフ・ヒダヤトゥッラ国立イスラーム大学は、1960年より続くイスラーム高等教育機関 (IAIN) を前身としている。現在ではイスラーム神学の学部だけでなく、理数系の学部等も開設され、より幅広い教育を担う総合大学へと変化しつつある。

■ 招へい期間 | 2010年11月7日(日) ~ 11月16日(火) 10日間

■ 略歴 | イスラーム神学の学士号を取得後、1990年中東工科大学 (トルコ) で哲学の修士号・博士号取得。専門は宗教哲学。パラメディナ基金エグゼクティブ・ディレクター、国政選挙管理委員会委員長などを経験後、現在国立イスラーム大学宗教哲学部教授、インドネシア国家教育スタンダード委員などを勤める。2006年より現職。

コマルッディン氏はイスラーム神学に深い造詣を持つ知識人として知名度が高く、2009年の大統領選挙においては大統領候補者のディベートのモデレーターも努めた。また、教育者としても広く活躍しており、インドネシアの価値観と宗教心を保ちながら、よりグローバルな環境で自由に教育が受けられることを目的とした幼稚園から高校までの教育機関マダニア (Madania) を設立。同学校は現在、著名人、知識人の子息等が通う、進歩的でハイ・クオリティな教育を施す学校と評されている。近著に、『Berdamaian dengan Kematian』(死を受け入れること)、『Menjadi Indonesia - 13 Abad Eksistensi Islam di Bumi Nusantara』(インドネシアになる-13世紀インドネシア島嶼におけるイスラームの存在) など。

■ 主な訪問・視察先 |

首都圏のイスラーム研究者、アジアアフリカ言語文化研究所 (東京外語大学)、国際協力機構 (JICA)、聖路加看護大学、(社) 日本・インドネシア経済協力事業協会、同志社大学神学部神学科などを訪問予定。



ギュルギュン・タネル (トルコ) / Gorgun TANER

イスタンブール文化芸術基金 総合ディレクター

General Director of Istanbul Foundation for Culture and Arts

(原語: Istanbul Kultur Sanat Vakfi)

※イスタンブール文化芸術基金は1973年に創設された民間の文化芸術基金であり、トルコ最大の文化団体。映画、演劇、音楽、ジャズ、イスタンブール・ビエンナーレなどの国際フェスティバルを企画・運営。様々な舞台芸術のプロデュースも行う。2003年には欧州文化賞を初の EU 非加盟国の文化団体として受賞。

■ 招へい期間 | 2010年11月13日(土) ~ 11月20日(土) (8日間)

■ 略歴 | 1983年より、イスタンブール文化芸術基金にてフェスティバルの広報や国際関係プログラムのコーディネーター、ジャズフェスティバルディレクターなどを経験し、現在、総合ディレクター。その間、欧州ジャズフェスティバル連合会長 (1998年~2002年) や、欧州文化基金顧問委員会メンバー (2005年)、「フランスにおけるトルコの季節」トルコ側代表委員 (2009年)、「イスタンブール欧州文化首都年」顧問委員会メンバー及びコーディネーター (2010年) などを歴任。その他にも、イスタンブール・ビリギ大学舞台芸術学部で教鞭をとる他、イスタンブール・モダン美術館運営管理委員やラジオ番組のプロデューサーを務めるなど、多様な分野で活動。

■ 主な訪問・視察先 | 東京国際映画祭実行委員会、東京 JAZZ 実行委員会、新国立劇場、東京都現代美術館などを訪問し、関係者と面会予定。